

月刊

ボランティアと、
地域活動の情報満載。

ボラナビ

2月号

無料

月25日発行(第42号)

ボラナビとは

ボランティアナビゲーション(案内役)
を略した造語です。

今月の表紙は、白石区の高橋由希子さんの作品です。このイラストは、昨年起きたニューヨークテロ事件に対して「武力が消え平和が訪れるように」と思いを込めて描いたそう。花は犠牲者へのとむらいの花。チョウチョは亡くなった方が天に昇る様子を表現。そして植物の芽は、本来メロンなどが実る大地だったというアフガニスタンに平和が戻り、色々な植物が芽吹くようにという希望を込めたとのこと。高橋さんのメッセージ通り、1日も早く平和が訪れることを祈りたいですね。



特集

もっと活用しよう!助成金

NPOまんが

新聞

遅読み!

みんなどうやって活動してるの？



もっと活用しよう！ 助成金

NPO団体の資金源っていろいろあるんですけど、みなさん助成金を活用してますか？各団体の懐はどこも温かいわけではありません（ボラナビも…）。でも、それぞれがミッションを持って頑張って活動を展開しているんですよ。そこで、ボラナビは推奨します。「もっと助成金を活用しよう！チャレンジする価値はあるから！」。今回はボラナビの経験談をふまえた助成金お役立ち豆知識を紹介します。これからもシリーズ化していく予定なので、お楽しみに。

助成金申請お役立ちアドバイス 其の1

～まずはなんと言っても「情報入手」から～

助成金を申請すると言っても、その情報がなければ何も始まりませんよね。申請にあたって、準備することや調べることはたくさんあるのです。情報の入手先は、新聞などいろいろですが、残念ながら新聞ではごくわずかししか入手できません。やはりそこはIT情報化社会、インターネットのホームページが一番充実していると思われます。芸術や文化系であれば、文化庁のホームページを検索するなど。助成情報がたくさん載っているホームページアドレスを下記に紹介しますので、ぜひチェックしてみてください。その他、社会福祉関係であれば社会福祉協議会のニュースや、全国の団体機関誌などが有力。あとは人づてという手もあります。情報を入力したら、自分たちの団体の活動とリンクする助成があるかを検討しましょう。ホームページ検索の段階で、助成がたくさんあって驚く人もいるかもしれませんが、決して全てが全NPO団体に適応するものではありません。地域限定のものも多いですし。また、助成金ではなく、助成物資というところも多いので、情報は細かく正確に把握しましょう。物資も中古パソコンだったり、車両だったり色々ですからね。

ホームページから 助成情報をゲットしよう！

シーズ＝市民活動を支える
制度をつくる会
<http://www.npoweb.gr.jp>

財団法人安田火災記念財団
<http://www.yasuda.co.jp/foundation>

北海道NPOサポートセンター・小林董信事務局長より、 助成申請をするNPO団体への応援メッセージ

「NPO団体が活動するにあたって、助成金は大きな役割を担います。実際、多くの団体が助成申請をしていると思います。地域に根ざしたものや全国規模のものなどがありますが、北海道の助成団体は市町村限定なども含めて全部で20程。全国的にみて、その数はそれほど多くはありません。全国規模のもので、北海道の団体が申請を通るのは割合的に見るとわずか。正直、頑張れ北海道という感じですね。申請を通るポイントアドバイスとしては、まず助成申請の事業趣旨を明確にすることです。何をどうしたくて資金が必要なのかをはっきりと明示することです。次にその事業遂行に必要な経費を科目ごとに見積もるスキルを身につけましょう。そして、応募期間、応募対象、上限金額、助成金の種類、助成金の用途などを正確に把握してチャレンジしてみましょう」

助成情報

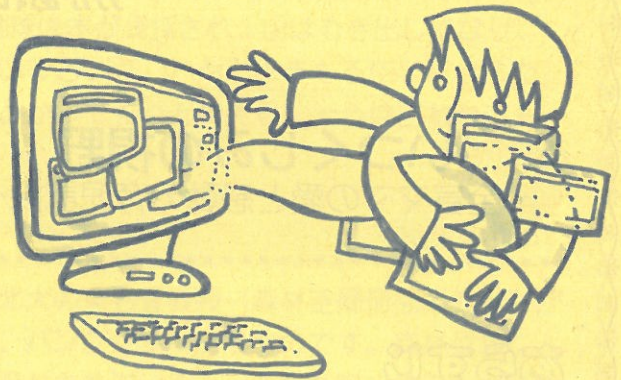
わずかですが（ホントにわずか…）、助成情報を紹介します。

★ セブン-イレブンみどりの基金 環境市民ボランティア活動助成制度

平成14年度第1期 2月末日 締切

セブン-イレブンに行くと、この基金のロゴを見かけることがあります。基金自体は、店頭の募金とセブン-イレブン・ジャパン本部からの拠出金・寄付金を元としているそう。助成は平成13年度からスタート。助成の対象団体は環境をテーマにしているところ。市民から生まれ、地域に根ざした団体で、継続性があることが必須だとか。助成金額に上限がなく、団体の活動や事業を重視してくれているというのはありがたく嬉しい。

問い合わせ先：セブン-イレブンみどりの基金
環境市民ボランティア活動
助成事務局
TEL 03-5733-2526
E-MAIL oubo@7midori.org
URL <http://www.7midori.org>



★ 札幌市芸術文化振興助成金

2月28日締切

活動の中心が札幌市で、将来も札幌市を中心に活動を行う団体または個人を対象にした助成金。名称や形式は多少変わっているようですが、昭和53年から毎年助成は続けられているとか。今回は、平成14年4月1日から平成15年3月31日までに行なわれる活動で、①芸術文化振興のための新人育成を目的とした研修、講習または市内で開催される新人が主体となる公演、発表など。②芸術文化振興のための国際文化交流活動、海外研修。③青少年の健全育成のための国内外の文化交流活動。のいずれかに該当することが条件。申し込みは市役所13階市民文化課で配布している申請書に必要書類を添付して提出を。

問い合わせ先：札幌市市民文化課 TEL 011-211-2261

私たちの助成申請 vol.1～ボラナビ倶楽部

月刊ボラナビの創刊前から助成を申請してました。今まで申請が通ったのは5、6件ほど。けれど、出した申請は数知れず…（認可された申請の6倍は出していると思われる。合格率は2割くらい）。落ちると凹みますが、次への励みにもなるし、いい勉強にもなります。

色々受けた助成の中でも日本財団のものが印象に残っていますね。この時は、不登校をテーマに活動している地域団体を知らせる事業を実施。シンポジウムを開催したのですが、70人収容の会場に不登校の子やその親たちが100人近くも参加してくれました。日ごろから不登校について活動している団体が快く協力してくれたこと、事業が成功してスタッフの士気が上がったことも嬉しかったですね。

助成申請のポイントはやはり企画力だと思います。それも時代を先取りした企画。あと、ボラナビとしては北海道らしさを入れていきたいと考えています。そしてそれを理解してもらえるように、しっかりしたプランで申請しなくてはならないと思います。ボラナビも昨年、たくさん申請を出しましたが、いつも締切りギリギリになってしまい反省…。やはり見直す時間がないと、誤字脱字が多くなってしまいますからね。これからは夜中に札幌中央郵便局へ提出に行かなくても済むようにしたいものです（笑）。

（ボラナビ倶楽部代表 森田）



NPOまんが

ボラナビ読者に関心の高い福祉や環境系のマンガを紹介します。活字は苦手という人でも、マンガだと親しみやすいのでは。これからもどんどん紹介していきたいと考えていますので、皆さんお勧めのマンガがあれば、ぜひご一報下さい。

いつくしみの視野 ～全盲ママの愛と感動の育児記録～

曾根富美子／著
甲賀佳子／取材協力
ベネッセコーポレーション／刊

あらすじ

先天性緑内障のために18歳で全盲になった主人公・井上由布子。軽い視覚障害を持つ夫・良平と結婚し、持ち前の明るさで仕事と家庭を両立させていた。結婚半年後に妊娠が分かり、大きな喜びとほんの小さな不安の中、長男・陽平を出産。仕事・家庭・子育てに前向きに奮闘する由布子とその家族のすがすがしい姿が描かれている。

感想

全盲ママ・甲賀佳子さんの育児体験をもとに描かれた、「ベネッセのたまひよコミックス」一押しのエッセイコミックスです。出産・育児ストーリーの中には、目の見えるママにも育児の参考になるヒントがいっぱい。実用性も兼ね備えたマンガです。今、育児が辛いと感じている人には特に読んでもらいたいですね。

また、このマンガには全盲ママが悪戦苦闘する日常生活が描かれているわけですが、線点や点字ブロック、音の鳴る信号機が、目の不自由な人にとってどれだけ大事なものかということがよく分かります。障害者にやさしい街づくりについても考えさせられる一冊でした。



未来への森づくり

藤岡照也／著
東三郎／監修
クルーズ／刊

あらすじ

小学5年生のまもるがのんびりと夏休みを過ごしていると、突然、100年先の未来からハヤトという少年がやってくる。ハヤトの時代の地球は木が伐採され、山はむき出しになり、空気は汚れ、動植物は死滅し、温暖化が進んでいるという。ハヤトはまもるに、こうした環境の悪化で、人間の存在自体も危ういから何とかしてくれと訴える。そうは言われても困るまもるだが…。

感想

北海道NPOサポートセンターが企画し、北大の東名誉教授（森林空間研究所主宰）が監修したこのマンガは、少々テイストが違い、パンフレットの的なものです。森林伐採による環境破壊について、とても分かりやすく説明がされている上、それを阻止するために考案された新しい植樹法・カミネッコンには「ほー」と驚かされます。実際、カミネッコンは活用され、有珠山などで植樹が実施されているそうです。子供にも分かりやすいように漢字にふりがなが付いているので、機会があれば子供たちにも読んで欲しいですね。

結局、最終的にまもるとハヤトとまもるのガールフレンド・美樹は、Dr.どんぐりという人物に会い、地球の未来を守るカミネッコンを知り、めでたしめでたしで終わるのですが、実際の地球は着実に環境破壊への道を歩んでいます。このマンガのよううまく地球を守れるよう、私たちがアクションを起こさなければと考えさせられました。



▲これがカミネッコン



新聞

遅読み!

Sinbun-osoyomi

各社の新聞には、NPO、地域、福祉などなど興味深い情報がいっぱい。古くても「これは多くの人に知らせたいなあ」というような記事を集めています。このコーナーに掲載できるような記事がありましたら、新聞社名と掲載日が分かるようにしてボラナビ倶楽部にFAXしていただくと嬉しいです。

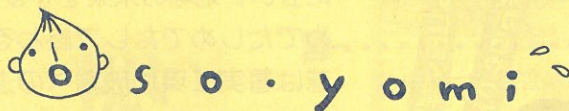
NPO型研究組織

非営利組織（NPO）方式がハイテク研究の新たな担い手として浮上してきた。利益を上げることや論文発表などの制約から解き放たれ、企業や大学ではできない研究を目指す。

欧米ではNPO型研究組織が基礎研究などの重要な一翼を担ってきた。これらの組織は政府助成金や個人の寄付金、研究成果の実用化などで獲得した資金で研究を展開している。また、だれでも使える公開ソフトの形で改良が進んだ基本ソフト（OS）のリナックスもNPO型研究の一例とされる。

国内のNPO型研究組織に共通する悩みは資金だ。研究活動に同調して資金をだす方式は国内ではなじみが薄い。芝浦工業大学元学長の大本修氏「今必要なのは研究者がモノ作りの夢や使命感を取り戻すこと」。企業でも大学でもない第三の組織が呼び水になるかもしれない。

（日経新聞 2001年8月31日）



NPOがテレビを陪審

テレビの報道番組を採点します—こんな試みをNPO組織「メディア検証機構」（神奈川県）が始めた。テレビは活字メディアと違い、一度放送されてしまうと、視聴者が疑問を持ってもビデオに録画していない限り見直して検証することができない。理事長を務める慶応大学の草野厚教授は「恒常的に内容をウオッチする第三者機関の必要性を感じてきた」と話す。

活動の中心となるのは番組の評価・格付け作業だ。ニュース、ドキュメンタリー系の番組を中心に対象番組を選び、継続的にウオッチしていく。評価を担当するのは、草野教授ら5人の研究員。結果は会員ページ <http://www.imr.or.jp/> で報告し、運営は、法人、個人などの会費でまかなう。

テレビ局の反応は「今の時代、こうした動きが出てくるのは当然」「怖いものを作ってくれた」とさまざま。建設的な批判・議論ができる関係を作り上げるためのひとつの試みとして注目される。

（朝日新聞 2001年6月20日）

ばりばり働く定年退職者 ～上海から～

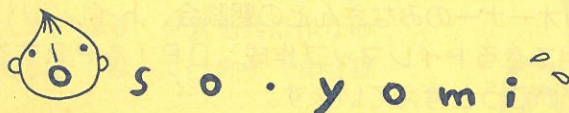
中国では「退職者管理企業（退管企業）」が、高齢者の再就職手段として近年、注目を集めている。

退管企業は、親会社の「退職者管理組合（退管会）」が親会社と一緒に新会社を設立し、退管会の一組織とするのが一般的だ。親会社からすれば、社内の事業のノウハウを熟知した人材を活用できるし、内部情報が漏れることも少ない。子会社にとっては親会社から安定した受注が期待できるなど、双方にメリットがあるという。

上海では1059社、従業員総数も約1万人に達した（2000年末）。市内全体の定年退職者の約1%が退管企業に勤め、上海市経済の一翼を担うようになった。市政府は、退管企業奨励のため税制上の優遇措置を実施した。この結果、企業が高齢者にまかせられる部門を子会社として独立させるケースが相次いだ。高齢者雇用の増加は、所得税などの増収につなげられている。上海市は「退管企業は、退職者のやる気を引き出すとともに、結果として親企業や地域社会全体の安定をもたらしている」と指摘する。

問題点は、定年退職者の雇用機会増加は、リストラされた労働者の就業機会を減らすものとして批判の声が上がっていること。今後は、退管企業を活性化しつつ、失業者の雇用を確保するのが最大の課題だ。

（読売新聞 2001年9月25日）



病院ボランティアの多彩な活動にやりがい実感

医療機関で活動する「病院ボランティア」への関心が高まっている。

神奈川県北里大学病院では8年前からボランティアを導入。活動は、外来患者の受診科や病棟への案内、病棟での話し相手や買物の代行、入院患者の散歩や検査などへの付き添いなど。実働メンバーは高校生から83歳の男性まで約100人。週1、2回という人が多く、年末年始を除いてほぼ毎日、常に5人前後が活動している。

ボランティアを導入後、同病院は地域に開かれた病院と評価されるようになり、ボランティアの存在が職員にも元気を与えている。共に活動を始めて7年になる60代の夫婦は「毎回、違った方と接するので新鮮な気持ちになれる。人のための活動が自分のためになっている」と笑顔で話す。

活動は広がっているものの、受け入れていない医療機関も多い。その背景には、感染や事故の問題がある。多くの活動団体はボランティア保険に加入し、講習会を開くなど、安全への努力を続けている。九州大学の安立清史助教授は「病院ボランティアは日本の閉鎖的な病院のシステムを、開かれたものに変えていく意味もある。3年以内に活動をやめてしまう人が多いが、ボランティアが病院で孤立しないよう、病院側の協力も欠かせない」と話している。

（読売新聞 2001年9月3日）

みなさまからのお便り特集



ボラナビ倶楽部では、みなさまからのお便りをお待ちしています。メール、FAX、お手紙などでどうぞお寄せください。よろしくお願いします。



ボラナビ9月号で紹介した「DPⅠバリアフリーボランティア企画委員会」のひろたまゆみさん

2002年秋に札幌で行なわれるDPⅠ（世界障害者会議）を成功させるため、多くのボランティアが必要で、市民一人ひとりの主体的な活動を求めています。

私たちは9月17日に説明会を開催。当日参加した170人のボランティアが、飲食店200店舗強に面談アンケート調査を実施し、併せてDPⅠ世界会議開催をアピールしました。

ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

アンケートの結果では、何らかの形で車いすのお客を歓迎して下さるお店は86%になりますが、車いすの人が使えるトイレがないお店が75%という結果でした。今後、この結果をふまえ、すすきのなどを中心とした市街地の飲食店のビルオーナーのみなさんとの懇談会、トイレのバリアフリー化推進、車いすで使用できるトイレマップ作成、DPⅠをPRする事業の企画や実施に取り組んでいこうと考えています。

2002年早々には「DPⅠ勝手に市民応援団」もたちあげ予定です。みなさんの企画やアイデアも募集します。どうぞよろしくお願いします。



ねっとぼ金登録団体「子供によい映画を見せる会」 事務局長の石川まち子さん

ボラナビ倶楽部で実施しているねっとぼ金を知り、すぐに登録させていただきました。この度、3人の方が募金をしてくださり、温かいコメントまでありました。大変嬉しく思い、更に新しい活力もいただいたと感じております。

もともと私たちの会は、昭和56年に札幌市内の小中学校校長が集まり発足した会です。昭和63年以降、諸事情で休止状態にありました。当時3、4歳の子供と一緒にこの会に参加していたお母さんたちから声上がり、1年間の準備期間を経て、平成9年に復活することができました。昨年秋からは、復活当初より会長を務めてくださった石林清氏がご高齢のため退任され、地崎晴海氏が会長を引き継いで下さっています。私たちスタッフも、地崎氏のもと、心に残る作品を皆様に提供していきたいとの思いで活動を続けて参ります。見守って下さる方たちのためにも、ますます頑張っていきたいと思っております。改めて、今回募金をして下さいました方へお礼を申し上げます。

連絡先：TEL 011-251-2860（北海道フィルムアート内）



ボラナビでは、今、4月号に掲載する情報を集めています。2月25日までに、最終ページにあるボラナビの宛先までお寄せください。
※ボラナビは、掲載されている団体の全てを把握しているわけではありません。詳細はそれぞれの団体にお問い合わせください。

イラスト：タケダミヲ

常時

痴呆対応型グループホームの設立準備&一般参加ボランティア募集

●**内容**：1月に開設された石狩市の痴呆対応型共同生活介護事業所「グループホームはまなす石狩」では、施設・設備などに関わる清掃や整備の準備ボランティアと、痴呆高齢者と関わる（日常生活・レクリエーション・外出・買い物など）ボランティアを募集しています。男女年齢一切問いません。介助介護経験者、公的介護資格保持者歓迎、未経験でもOKです。謝礼・交通費は支給できませんが、昼食・夕食を共に作りゆっくり語りながら食事をしたく思っています（食材費は当施設で負担）。

●**日時**：365日24時間、ご都合の良い時

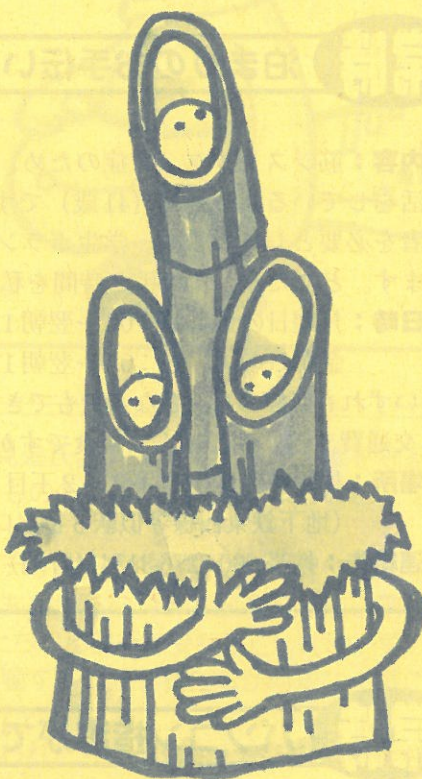
●**場所**：石狩市花川北6条1丁目68
（石狩市役所・リンクルそば）

●**連絡先**：グループホームはまなす石狩
（協力支援：特定非営利活動法人
NPO 社会福祉事業振興会）

TEL 0133-76-2201

FAX 0133-76-2203

担当/事務長 板倉信博



キャリアが見える「転職データベースマガジン」

DODA ナビ

毎週月曜日発売 定価150円(税込)

アルバイト発見マガジン【アン】

an

●毎週月・木曜日発売 ●定価150円(税込)

GOOD PLACEMENT GOOD COMMUNICATION
株式会社 学生援護会北海道
<http://www.engokai-hokkaido.co.jp>

3/2

我らが主張大会

●**内容**：精神障害者が日ごろ考えていることを胸を張って発表する「我らが主張大会」を下記の通り行ないます。当日は公募した中から選ばれた10名が主張。精神障害者はもとより、その家族、一般市民の方々、医師、看護婦、看護師、精神保健福祉士などの医療関係者、共同作業所の指導員、生活支援センターの職員、グループホームや共同住居の世話人などの関係者、行政や議会の方々に聞いていただきたく思います。また、医療福祉の勉強をしている学生の方々もぜひ参加して下さい。

●**日時**：3月2日（土） 13：30～16：00

●**場所**：生涯学習センター「ちえりあ」大ホール（札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10）

●**会費**：無料

●**問い合わせ**：すみれ第二共同作業所（担当/宮岸） TEL 011-707-2338 FAX 011-707-2360

常時

泊まりのお手伝いボランティア募集

●**内容**：筋ジストロフィー症のため、人工呼吸器を使用しながら山の手ケア付き住宅で自立生活をしている鹿野靖明（41歳）です。重度身体障害者のため、1日24時間365日、そばに介助者を必要としています。学生ボランティアの就職などで、人手が足りなくなって大変困っています。どなたか、その手と時間を私に貸して下さいますか？

●**日時**：月曜日の人、21：00～翌朝11：00位まで、できれば毎週。

金曜日の人、21：00～翌朝11：00位まで、隔週か、毎週。

※いずれも研修あり。どなたでもできます。女性でも、学生でも、社会人でも可。2人組でも可。

※交通費支給。朝ごはん（軽食ですが）付き。仮眠あり。

●**場所**：札幌市西区山の手2条2丁目 道営団地1-8 鹿野靖明宅

（地下鉄東西線琴似駅5番出口から徒歩10分、血液センター裏）

●**連絡先**：携帯090-8276-3174（野地）

常時

パソコン指導ができるスタッフ募集

●**内容**：『デジタルイブジャパン』は、女性が仕事や生活でIT技術を活かせるように研修会や交流会を行なっている世界的な非営利団体の日本支局です。同団体では、この度北海道支部の立ち上げに伴い、パソコンを教えることができるボランティアスタッフ（チューター）を募集しています。英語ができれば尚可。もちろん外国人の方も歓迎です。北海道支部のメンバーは現在、外国人・日本人合わせ10名弱。チューターの他、サポートスタッフやパソコンを勉強したいと考えている人も募集しています。女性がメインですが、日本支局には男性も参加。詳細はお問い合わせ下さい。また、活動内容は<http://www.digitalevejapan.org>にも載っています。

●**連絡先**：デジタルイブジャパン北海道支部 TEL090-9023-2232（ナターリア）

●**内容**：バリアのない街づくりを進めようという考えから始められた雪中デモ行進。今年で4回目を迎える車いすを先頭にしたデモです。当日一緒に参加してくれる人を募っています。現地集合で、事前申し込みは必要ありません。考えに賛同してくれる人ならばOKです。また、デモ終了後に「神戸・被災地障害者センターからの報告」をテーマにした集会を開きます。1995年の阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた神戸で障害者の救援・支援活動をすすめてきた「NPO法人被災地障害者センター」の事務局長・大賀重太郎さんを迎え、ビデオ上映を交えながらお話を伺います。

●**日時**：2月9日（土）13：00 出発

●**集合場所**：JR琴似駅前広場

●**参加費**：無料

●**集会開始時間**：14：00

●**集会場所**：西区民センター大ホール
（札幌市西区琴似2条7丁目）

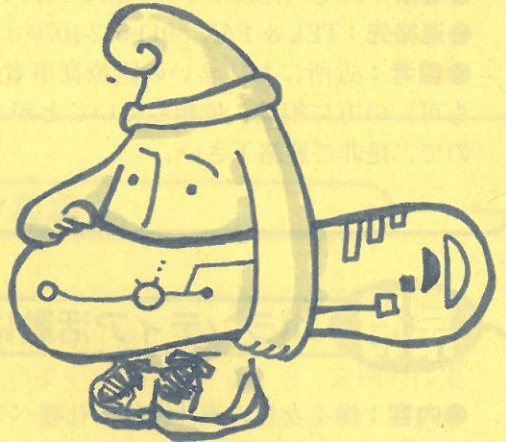
●**集会参加費**：500円（障害当事者）
1000円（一般）

※集会の収益・寄付金・カンパ金は「被災地障害者センター」に送られます。

●**共催**：NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ
障害者福祉の充実を求める西区ネットワーク

●**問い合わせ**：ライフ事務局 TEL 011-664-5533

2月のボラナビの集いの
ゲストスピーカーです。



ゲストはアムネスティ札幌28グループの高見進氏。アムネスティが人権を守る活動をしている団体であるということは知っていたものの、具体的にどのようなことをしているのかわかりませんでした。

はじめに見せていただいたアムネスティのビデオは衝撃的でした。世界にこんな現実があるなんて…というのが正直な感想です。訳もわからないまま凶悪犯と同じ刑務所に入れられている罪のない子供たち、路上で警官たちから暴行を受け死亡した幼い男の子、戦うことを強いられた子供兵士…。ビデオに登場するのは、私たちが何気なく過ごしている日々からは考えられないようなことばかりでした。

アムネスティでは、このように理由もなく囚われたり、信仰・人種・言語・性などを理由に囚われた人を「良心の囚人」と呼び、彼らの釈放や、軍や警察などによる市民の殺害や強制的な連行など、重大な人権侵害に対してその根絶、予防のための国際的な活動を展開しています。会員は世界140カ国に100万人。高見氏のアムネスティ28札幌グループでは、ミャンマー民主運動家やレバノンの失踪誘拐者などを救うためにアピールハガキを書いたり、デモを行ったりしているそうです。

アムネスティのメンバーには、自分の国の「良心の囚人」に対してアクションを起こさないという決まりがあります。これは意外でしたが、人権を守るということ以外、どのような政治的立場・宗教的立場も持たないということだからだと聞き、納得。

記録に残る連日の大雪の為か、あまり集まりがよくなかったのが残念でした。

（ボラナビスタッフ 中村 昭子）

常時

日常生活の支援をしてくださるボランティアスタッフ募集

●**内容**：在宅で仕事をしている全身性障害者（女性）です。食事や洗濯等の家事全般、外出や入浴などの身体介護の支援をしてくれるスタッフを募集しています。交通費・ボランティア保険はこちらで負担。現在、支援スタッフが足りなくなり困っています。可能な時間帯・内容で構いませんので、ご協力をお願いいたします。

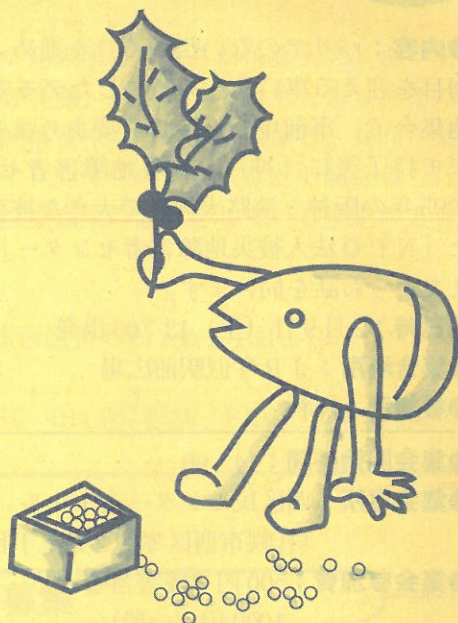
●**日時**：月～日曜日 24時間

（曜日や時間、支援内容などは応相談）

●**場所**：自宅（札幌市中央区南5条西10丁目）

●**連絡先**：TEL & FAX 011-512-1070（佐藤）

●**備考**：近所にお住まいの医療従事者（OBでも可）の方に相談、依頼したいことがありますので、是非ご連絡下さい。



常時

ボランティア活動に参加してくれるスタッフ募集

●**内容**：働く女性の奉仕団体「札幌ベンチャークラブ」では一緒に活動してくれるスタッフを募集しています。「国際ソロプチミスト札幌」のスポンサーシップを受けている当クラブは、「冒険なくしてはなにもも得られない」をスローガンに、自分たちのできるやり方で、ボランティア活動を行っています。フリーマーケットに参加してその収益金を寄付したり、老人ホームを訪問したり、チャリティ食事会を開いたりといった活動を続けています。ベンチャークラブは札幌のみならず、全国に120以上あり、メンバー間の交流も楽しむことができます。私たちと一緒にボランティア活動に参加しませんか。興味のある方はぜひご連絡下さい。

●**募集対象者**：札幌及び近郊在住で、18歳～40歳までの職業を持つ女性
（現在働いていないという方も興味があればご連絡下さい）

●**連絡先・お問い合わせ**：札幌ベンチャークラブ代表 江口

TEL/FAX 011-709-2926（土・日曜日） 携帯 090-2690-8252

※いずれも留守電になっている場合は連絡先を入れておいて下さい。折り返しこちらからご連絡致します。

全世界の障害者が連帯する第6
回障害者インターナショナル（DPI）
世界会議札幌大会が、2002年10月
15日から18日に札幌市「きたえる」
で開かれます。

たれもが元気に暮らせる優しい街
づくりを、北海道新聞は積極的に応
援します



道新は応援します、
DPI世界大会。

道新は、北海道の元気を応援します。
北海道新聞
<http://www.hokkaido-np.co.jp/>

常時**慢性の病気で自宅療養している子供たちの母親をサポートするボランティア募集**

●**内容**：慢性の病気で自宅療養している子供たちの母親を手助けするため、一時的に子供の面倒を見るボランティア団体「くまさんの手」は、札幌医大保健医療学部の木原キヨ子助教授と、同大で看護学を学んだ看護婦が中心となり創設。活動を始めてから1年半以上過ぎました。主に札幌圏を対象に、先天性心疾患や気管支ぜんそくなど、退院後も自宅で長期療養が必要な慢性疾患や障害を持つ子供の自宅を訪ね、母親が親類の結婚式に出たり、母親自身が病院にかかる場合などに、母親に代わって食事介護をしたり、薬を飲ませたり、遊び相手になったりします。現在、活動に参加しているスタッフは現役の看護婦が多いため、ボランティアの依頼が来ても時間調整がつかずお断りしなければならない場合がままあります。そこで、元看護婦のボランティアスタッフを募集しています。1ヶ月にわずかな時間でも構いませんので、ぜひご協力をお願いします。

●**対象者**：現在は働いていない看護婦で、50歳くらいまでの方。

●**問い合わせ**：くまさんの手事務局 PHS 070-5284-0604

常時**障害児学童保育のボランティア募集**

●**内容**：障害児学童保育「種っ子クラブ」では、小学生から中学生までの子供たちが放課後や学校の休みの日（夏休みや冬休みなど）に集まり、一緒に時間を過ごしているクラブです。この子供たちと遊んでくれるボランティアの方を募集しています。子供が好きな方、定期的に来てくれる方、スポーツ好きで子供たちと遊んでくれる方、少しでも興味がある方はぜひご連絡下さい。専門学校生、大学生、社会人の方、お待ちしております。

●**日時**：水曜日、土曜日の午後に活動しています。

●**場所**：日本メノナイト福住センター

(札幌市豊平区福住2条3丁目6-1、地下鉄東豊線福住駅下車徒歩10分)

●**連絡先**：NPO法人 小さい種の会 代表 喜来業康

TEL 011-882-0232 FAX 011-882-2220

3/29-30**子どもと一緒に遊んでくれるイベントスタッフ&医療スタッフ募集**

●**内容**：3月の「ふれあいスノーフェスティバル2002」で、子ども達と一緒に元気に遊んでくれる高校生以上の方を募集しています。このフェスティバルは「ハンディがある子もない子も雪の中でおなかいっぱい遊ぼうよ★」をテーマにした、1泊2日のイベントです。日帰りも可能です。事前に説明会を行なう予定なので、下記まで問い合わせを。このほか、医療スタッフ(医師・看護婦・看護師)と、フェスティバルに参加希望のお子さんも募集しています。

●**日時**：3月29日(金)・30日(土) ※説明会は別の日に予定しているので、問い合わせを。

●**場所**：滝野すずらん丘陵公園内 青少年山の家(札幌市南区滝野247番地)

●**問い合わせ**：ふれあいスノーフェスティバル2002 実行委員会

e-mail onakaippai@hotmail.com 携帯 090-5982-9472

短期

小学校での紙芝居作りボランティア募集

●**内容**：“総合的な学習”の一環として、小学校3・4年生28名で手作り紙芝居に取り組んでいます。絵の描き方や紙芝居の語りの仕方などを教えてくださる方を募集しています。作った紙芝居は、老人ホームや幼稚園で披露する予定です。

●**日時**：2月2日(土) 9:30～11:10 2月7日(木) 11:15～12:15
2月13日(水) 11:15～12:15 2月19日(火) 11:15～12:15
2月22日(金) 11:15～12:15

●**場所**：札幌市立厚別通小学校(札幌市厚別区厚別西4条3丁目)

●**連絡先**：TEL 011-892-7555 FAX 011-892-7449(担当：山崎)

ボラナビ倶楽部 事務局スタッフ募集

【**仕事内容**】月刊ボラナビの編集、ねっとぼ金の運営管理、事務局内外との連絡業務、その他作業など。

【**勤務時間**】9:30～18:00の間で5～6時間程度。週5日勤務(曜日は応相談)。

【**給与**】日給5,000円(交通費込)

【**求めるスキル**】3年以上の社会経験があり、パソコンでの実務経験がある方(ワード、エクセル、アウトLOOKなどのメールソフト)で、ボラナビ倶楽部の活動やNPOに興味をお持ちの方。長期勤務できる方希望。※原稿制作が若干あるため、文章を書くのが得意な方は特に歓迎します!

【**応募方法**】E-mailにて、以下の2点をお送り下さい。

1) 簡単な自己紹介(書式自由。住所・TEL・連絡先とこれまでの経歴などをお書き下さい)

2) 志望の理由(400字程度でお書き下さい)

メール受信後、面接日等をこちらからご連絡さしあげます。

【**応募宛先・お問合せ**】e-mail: volunavi@npohokkaido.jp

引越し・旅行・車検は札幌にお任せ!

札幌通運では、引越し・旅行・車検のサービスをしています。ご利用の際、「ボラナビに還元して」とおっしゃっていただければ、売上の一部をボラナビ倶楽部に還元します。お客様の支払いが、その分、高くなるということは決してありません。広告費を抑えています。一般のお客様と同様のサービスをご利用ください。

引越し…見積もり無料。

旅行…JTB、北海道ツアーシステムなどの大手国内外旅行も、同金額、同サービスで取り扱っています。

車検と保険も取り扱っています。

お問い合わせ・お申し込みは……

札幌 “はこび愛ネット” 推進事務局
札幌市中央区北5条西6丁目2 札幌ビル2階
TEL 011-251-4120 FAX 011-251-3315(担当・佐藤)



ボラナビの主な配付先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。
(問い合わせの多い大通り、札幌駅近辺のいくつかには住所も書いています)

●札幌市内と近郊の大学・専門学校●

大谷短期大学、札幌医科大学(本屋)、北海道浅井学園大学、札幌学院大学(江別BBS)、札幌国際大学、天使女子短期大学、藤女子大学、北海道文教短期大学、北星学園大学、北海学園大学、北海道医療大学、札幌福祉専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道医薬専門学校、北海道大学、北海道教育大学、小樽商科大学、札幌大学、酪農学園大学、武蔵女子短大

●スーパー●

北雄ラッキー、スーパーJOY、札幌東急ストア、ホクレンショップ・ホクレンディスカウントショップ、コープさっぽろ、SEIYU、マイカルSATY、ラルズ系スーパー、マックスバリュ<以上のスーパーの市内全店>、札幌フードセンター(平岸、元町、澄川、北、新道、篠路、豊平、琴似、菊水、森林公園、カストムー東苗穂、月寒中央)

●書店●

文教堂 本店 岩本 市内全店、紀伊国屋書店 市内全店と小樽店、くすみ書房、ダイヤ書房(北25東8、発寒14条3丁目、川沿1条1丁目)、ビゾブックセンター(南2西4ビゾ6階)

●レンタルビデオ店●

TOWA・フォレストページ 市内全店、T S U T A Y A (北14東6、北3西28)

●CD店●

VIRGIN MEGA STORE(南1西3ラ・ガレリア地下1階)

●映画館●

松竹、S Y遊楽、札幌劇場、シアターキノ、東宝公楽、東映劇場

●銀行●

札幌信用金庫、北海道銀行、ろうきん

●飲食店●

可否茶館 市内7店舗、サンローゼ、サッポロ珈琲館

●その他●

北海道環境サポートセンター(北7西5)、朝日カルチャーセンター(北2西1)、札幌国際プラザ(北1西3)、北海道電力(株) 市内全営業窓口、琴似日食コンカリーニョ、道新文化センター(大通り西3)、ライラックパセオ、J Tインフォプラザ(南2西3)、さっぽろ村コミュニティ工房、JR琴似駅、JR新札幌駅

●市内公的施設●

70カ所(区役所、図書館、地区センター、市民活動プラザなどに配布をお願いしています)

2月のボラナビの集い

2/22 18:30~20:30
(金) 初心者歓迎!

2月の集いのゲストは、11ページの「NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ」さんです。

場所：環境サポートセンター
北七西5札幌千代田ビル1階
会費：300円

予定 3月は20日(水) 13:30~15:30

場所：環境サポートセンター
北七西5札幌千代田ビル1階

ボラナビでは、表紙の絵を募集しています。

応募の方は、ボラナビ倶楽部へB5以上の紙へ描いた絵を郵送してください。紙は折らないようにお願いします。採用の方には、こちらからご連絡いたします。

ボラナビ事務局はなかなか忙しいところです。2ヵ月前にスタッフに加わった私には目が回る(てんでこまい) & おながが空く(食事するヒマが…) 毎日でした。そんなさなか、5年前、旅先で知り合った友達が突然やって来ることに。香港での仕事を辞めて日本に帰ってきた彼女。すぐに今度はフランスに渡るのだけど、合間をぬってスキーをしに来るといふ。そうだ! 忙しくても遊びは大切だ! 楽しくなくちゃいけません。やっぱりライブも芝居も行くことにします。笑門来福。皆さん、これからどうぞ楽しくボラナビとおつきあい下さい。(藤山道子)



読者のみなさまへ

- ・「月刊ボラナビ」を定期的にほしい方、お申し込みください。

定期購読料は、半年1500円で、毎月1部ずつお送りします。2~30部ずつ(札幌市外は12部まで)ご希望の場合は、半年で3000円です。この金額は、印刷、郵送費に足りていませんので、特に企業さんがお申し込みの際は協賛のご検討をお願いします。また、これまでの「月刊ボラナビ」をほしい方は、ご希望の号をお知らせの上、郵送費とカンパをお願いします。振込みの際には、お名前、住所、希望部数、FAX番号(もしくはTELかメールアドレス)をボラナビ倶楽部にお知らせください(口座番号は最終ページにあります)。

- ・「月刊ボラナビ」に広告を載せませんか?

広告掲載は、縦4センチ横13センチで6万円です(版下製作もできます)。ボラナビ倶楽部への協賛の意味が強く、金額は若干高めに設定させていただいています。企業の方には負担をおかけしますが、広告の数が限られるため目立ちます! 掲載希望の際は、ご連絡ください。

※「月刊ボラナビ」は、毎月25日に、2万5千部発行しているボランティアと地域活動の情報誌です。札幌市内の大学、書店、スーパー、JR駅、区役所や社会福祉協議会を中心に350カ所で無料配布しています。

今月協賛して下さった方々 (ナニヌ順)

- ・ 中道リース株式会社 様
- ・ 株式会社ニトリ 様
- ・ 幡本印刷株式会社 様
- ・ ほくでんぼるねっと 様
(北海道電力内ボランティアサークル)
- ・ 北雄ラッキー株式会社 様
- ・ 株式会社ホクレン商事 様
- ・ 株式会社北海道アルバイト情報社 様
- ・ 北海道紙商事株式会社 様
- ・ 北海道振興株式会社 様
- ・ 北海道新聞社 様
- ・ 北海道総合通信網株式会社 (HOTnet) 様
- ・ 北海道ビジネスオートメーション株式会社 様
- ・ 真屋 幹雄 様
- ・ 株式会社リクルート北海道じゃらん 様
- ・ ろうきん 様
- ・ 渡邊 克彦 様
- ・ 赤帽北海道事業本部 様
- ・ 株式会社 NTTドコモ北海道 様
- ・ 札幌光星学園 様
- ・ 札幌信用金庫 様
- ・ 札幌創成高等学校 様
- ・ 札幌通運労働組合 様
- ・ 佐藤水産株式会社 様
- ・ 城宝 和茂 様
- ・ 進藤 芳彦 様
- ・ 菅原 祐雄 様
- ・ 株式会社 太陽グループ 様
- ・ 高垣 正計 様
- ・ 株式会社 TAQANO 様
- ・ 株式会社土屋ホーム 様
- ・ 禎心会病院 様
- ・ DoCoMo エンジニアリング北海道株式会社 様
- ・ DoCoMo サービス北海道株式会社 様
- ・ ドコモモバイル北海道株式会社 様

協賛協力をお願い

ボラナビの発刊は企業・グループや個人からの500円からの協賛金でまかっています。1万円協賛いただいた社(方)の名前は誌面で紹介させていただいています。継続的なご協賛をお願いします(数号分まとめての振込みも可能です。政治や宗教団体などは、お断りさせていただく場合があります)。

※ねっとぼ金での振り込みもぜひご利用ください。手数料はボラナビが負担します。

詳しくはボラナビHPを参照ください。

■郵便局口座番号:02700-1-5671

■北洋銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0118625 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■北海道銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0816050 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■北海道労働金庫口座番号(普):道庁支店3153060 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■加入者名:ボラナビ倶楽部

情報提供をお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはEメールでお送りください(Eメールだと嬉しい!)。掲載料は無料です。4月号に掲載を希望される場合は、2月25日までにお送り下さい。お便りなどもお待ちしております。

ボラナビ

ホームページアドレス
<http://www.npohokkaido.jp/volunavi>

メールアドレス
volunavi@npohokkaido.jp

月刊 ボラナビ

■発行:NPO法人 ボラナビ倶楽部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

北海道NPOサポートセンター内(南向き)

FAX専用:011-716-2899(電話はかかりません)

■発行日:2002年1月25日

■発行部数:25,000部

■代表:森田麻美子

■印刷所:幡本印刷株式会社



R100 PRINTED WITH SOY INK

この印刷物は古紙配合率100%の再生紙と環境にやさしい「大豆インキ」を使用しております。